

日立金属株式会社

2019年度決算

2020年度業績予想

[目次]

1. 2019年度決算
2. 2019年度セグメント別業績
3. 2020年度業績予想

2020年5月27日

●製品分野別の販売状況

[自動車]・グローバルの自動車販売台数減の影響により、多くの主要製品の需要減少

[FA・ロボット]・需要の回復は見られず、希土類磁石、電線材料で低調が継続

[スマホ]　・特殊鋼電子材(クラッド材)が増加

[半導体]　・銅系、ニッケル系とも顧客在庫調整終了だが力強い回復は見られない

●経営効率改善施策実行

・フリー・キャッシュ・フロー(FCF):

生産調整による棚卸資産縮減(前年度末比349億円縮減)や投資抑制などにより
FCF 495億円となり前年同期比792億円改善(公表値*前年度比677億円)

・固定費削減他:

前年同期比242億円削減(公表値*前年度比231億円削減)

●新型コロナウイルス感染症の影響

・中国を中心に業績への影響があったが、固定費削減等により影響を低減

●2019年度業績

・前年度対比減収減益になるも調整後営業利益は公表値*を確保

売上収益8,814億円(公表値8,950億円)、調整後営業利益144億円(公表値140億円)

・FCFは、棚卸資産の縮減、投資の厳選等により、公表値*から改善

1-2. 2019年度業績

金額単位：億円 ()は利益率	2018年度 1\$=111円 1€=128円 1元=16.5円	2019年度 1\$=109円 1€=121円 1元=15.6円	前年度対比
売上収益	10,234	8,814	△14%
調整後営業利益*1	(5.0%) 514	(1.6%) 144	△370
IFRS営業利益	(4.1%) 424	(△4.4%) △391	△815
税引前当期利益	430	△406	△836
親会社株主に帰属する当期利益	314	△376	△690
ROIC*2	5.3%	1.7%	△3.6%

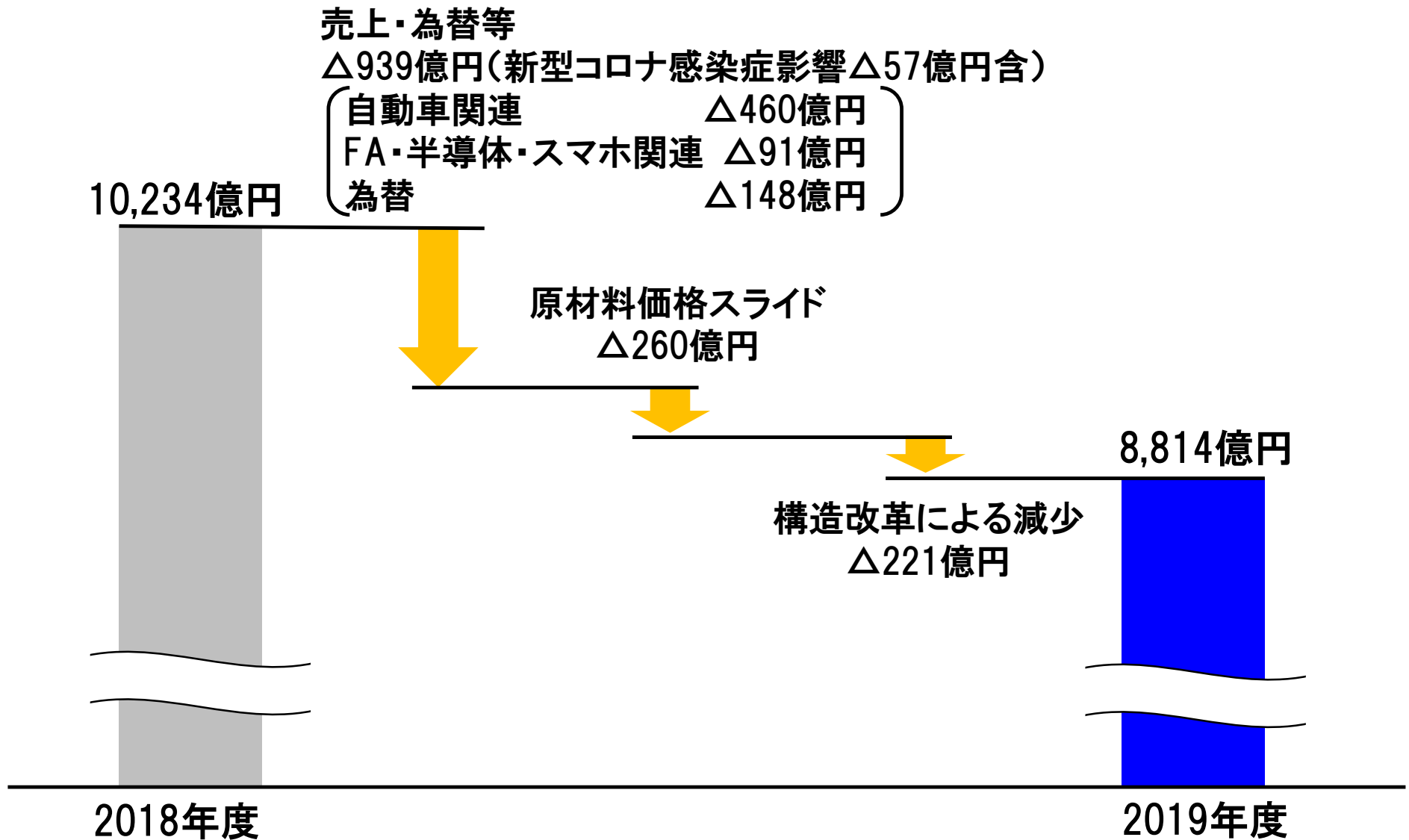
*1:調整後営業利益 = 売上収益 - 売上原価 - 販売費及び一般管理費

*2:ROIC(投下資本利益率) = [調整後営業利益 × (1 - 税率25%) + 持分法投資損益] ÷ (期首期末平均有利子負債 + 期首期末平均資本) [今回より数式変更]

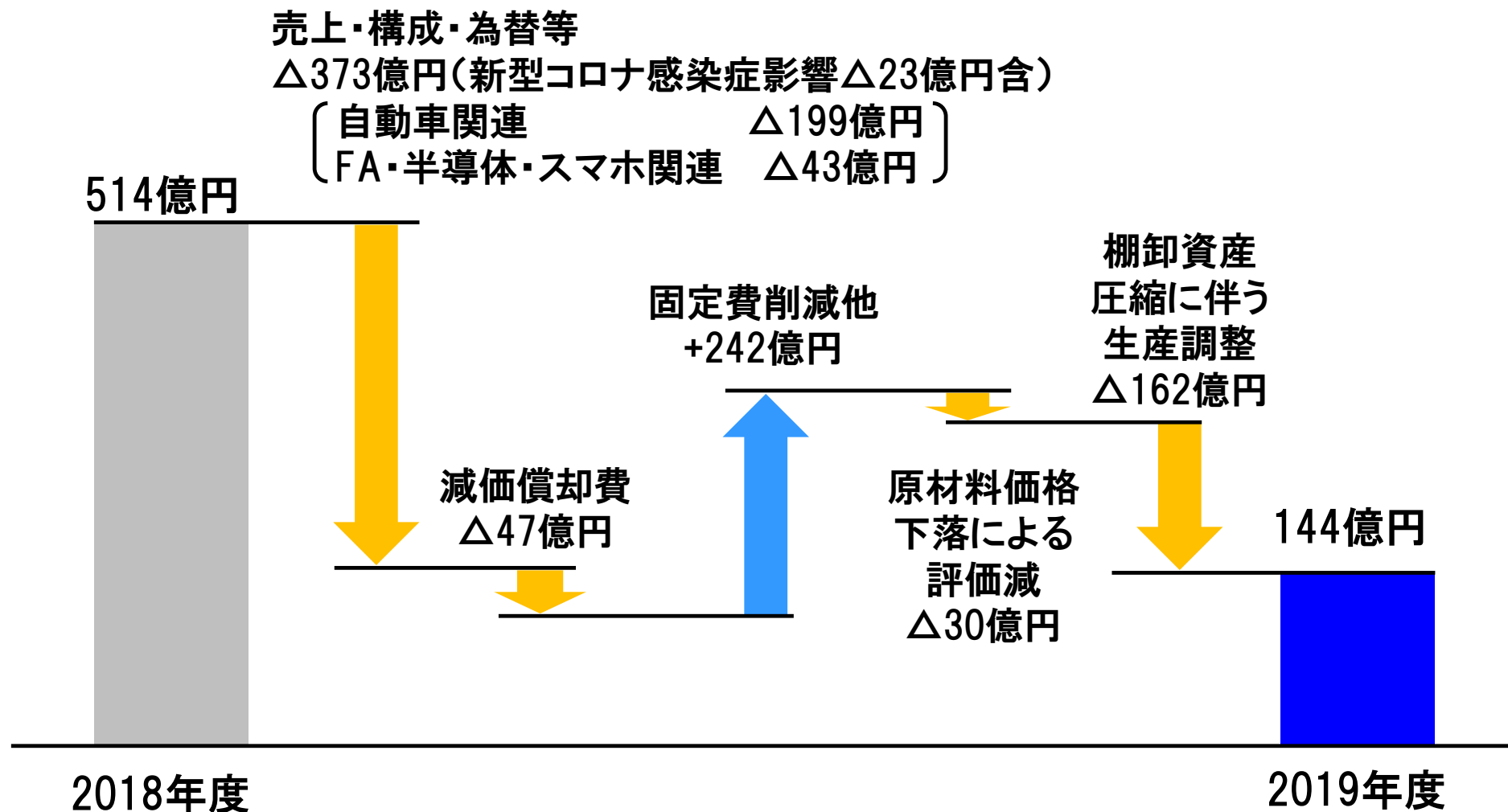
地域別売上

金額単位：億円		日本	北米	中国	その他アジア	欧州	その他
2018年度	売上収益	4,490	3,109	762	1,245	504	124
	売上比率	44%	30%	7%	12%	5%	2%
2019年度	売上収益	4,054	2,453	634	1,028	445	200
	売上比率	46%	28%	7%	12%	5%	2%
	売上収益 前年同期比	△10%	△21%	△17%	△17%	△12%	+61%

1-3. 売上収益の増減要因(前年度対比)



1-4. 調整後営業利益の増減要因(前年度対比)



2-1. 2019年度セグメント別業績

金額単位：億円 ()は利益率		2018年度 1\$=111円 1€=128円 1元=16.5円	2019年度 1\$=109円 1€=121円 1元=15.6円	前年度対比	
金属材料	特殊鋼製品	売上収益	2,769	2,506	△9%
		調整後営業利益	(8.1%) 224	(2.2%) 55	△169
		IFRS営業利益	(7.9%) 218	(3.0%) 76	△142
		ROIC*1	7.3%	1.9%	△5.4%
	素形材製品	売上収益	3,676	2,997	△18%
		調整後営業利益	(2.9%) 105	(△0.3%) △9	△114
		IFRS営業利益	(△0.7%) △25	(△3.1%) △92	△67
		ROIC*1	2.7%	—	—
	小計◎	売上収益	6,445	5,503	△15%
		調整後営業利益	(5.1%) 329	(0.8%) 46	△283
		IFRS営業利益	(3.0%) 193	(△0.3%) △16	△209
		ROIC*1	4.9%	0.8%	△4.1%
機能部材	磁性材料・ パワーエレクトロニクス	売上収益	1,370	1,168	△15%
		調整後営業利益	(2.9%) 40	(1.2%) 14	△26
		IFRS営業利益	(6.9%) 95	(△36.6%) △428	△523
		ROIC*1	1.9%	0.9%	△1.0%
	電線材料	売上収益	2,401	2,133	△11%
		調整後営業利益	(5.2%) 125	(3.1%) 67	△58
		IFRS営業利益	(4.8%) 116	(2.5%) 53	△63
		ROIC*1	8.6%	5.0%	△3.6%
	小計◎	売上収益	3,771	3,301	△12%
		調整後営業利益	(4.4%) 165	(2.5%) 81	△84
		IFRS営業利益	(5.6%) 211	(△11.4%) △375	△586
		ROIC*1	4.4%	2.5%	△1.9%
その他・調整額	売上収益	18	10	—	
	調整後営業利益	20	17	△3	
	IFRS営業利益	20	0	△20	
合計	売上収益	10,234	8,814	△14%	
	調整後営業利益	(5.0%) 514	(1.6%) 144	△370	
	IFRS営業利益	(4.1%) 424	(△4.4%) △391	△815	
	ROIC*2	5.3%	1.7%	△3.6%	

*1: セグメント別ROIC(投下資本利益率) = [調整後営業利益 × (1 - 税率30%) + 持分法投資損益] ÷ (期首期末平均運転資金 + 期首期末平均固定資産) [今回より数式変更]

*2: 全社ROIC(投下資本利益率) = [調整後営業利益 × (1 - 税率25%) + 持分法投資損益] ÷ (期首期末平均有利子負債 + 期首期末平均資本) [今回より数式変更]

◎ セグメント間相殺前の単純合計値

2-2. セグメント別業績: 特殊鋼製品(1)

【売上収益】

・工具鋼

中国を中心とした海外市場の需要減や国内流通を含む在庫調整により減少

・ロール

各種ロール: 国内向けが増加

射出成形機用部品: 3Qからの需要急減により減少

・産機材

自動車関連の需要減により減少

・航空機・エネルギー関連材料

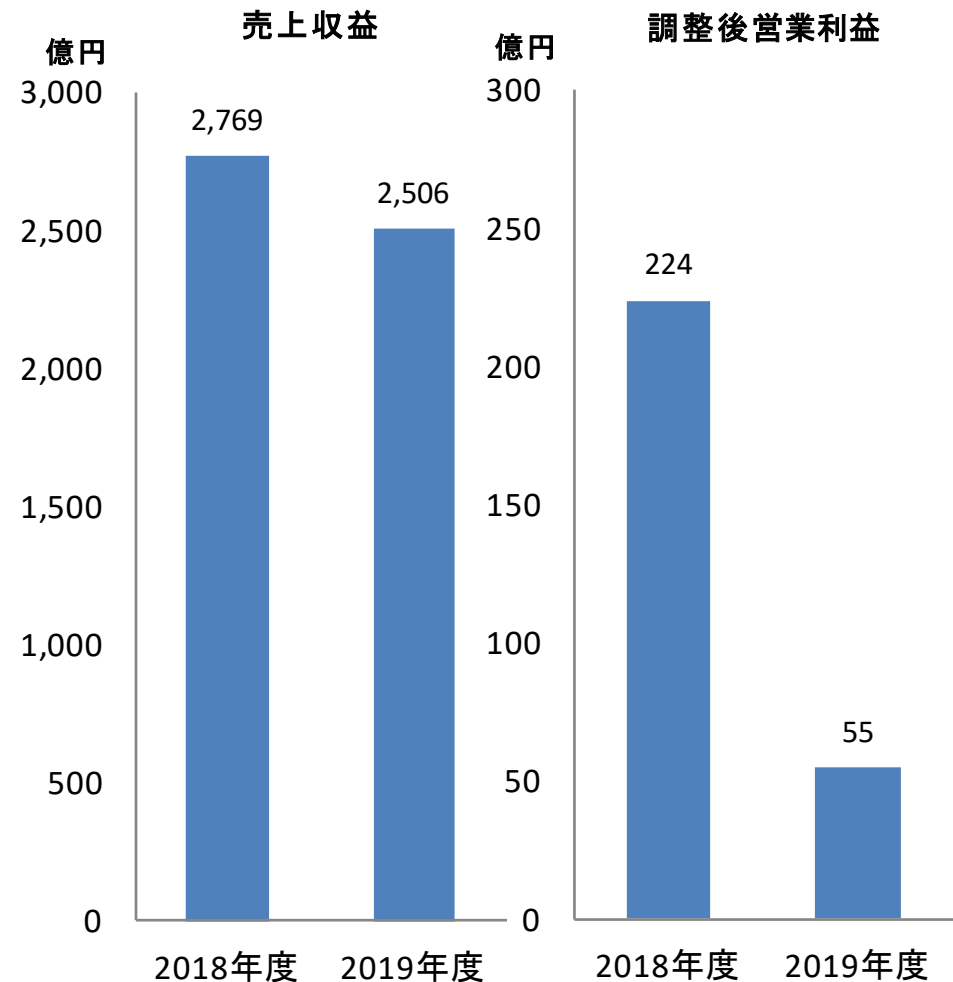
航空機およびエネルギー関連材料ともに需要増により増加

・電子材

有機ELパネル関連部材が伸長、クラッド材はスマホや電池向けで増加したが、半導体パッケージ材料の需要減により減少

【調整後営業利益】

主力の工具鋼や産機材の需要減、原材料価格下落の影響、および需要に対応した仕掛品圧縮等により減益



2-3. セグメント別業績：特殊鋼製品(2)

金額単位：億円		2018年度 1\$=111円 1€=128円 1元=16.5円	2019年度 1\$=109円 1€=121円 1元=15.6円	前年度対比
特殊鋼製品	売上収益	2,769	2,506	△9%
	工具鋼 [□]			△18%
	ロール [□]			+4%
	産機材 [□]			△16%
	航空機エネルギー [□]			+9%
	電子材 [□]			△7%
	調整後営業利益	224	55	△169
	調整後営業利益率	8.1%	2.2%	△5.9%
	IFRS営業利益	218	76	△142
	ROIC	7.3%	1.9%	△5.4%

□ 簡易的な方法により集計した売上収益(金額)の増減比を表示

2-4. セグメント別業績：素形材製品(1)

【売上収益】

自動車販売台数減、アルミホイール撤退により減少

・自動車用鋳物

鋳鉄製品：

北米では、ライトトラックや乗用車の需要減少が継続し、3Qより商用車や建設機械・農業機械向けが減少。アジアでも需要が減少。そこへ年度末に北米、アジアで感染症影響が加わる

耐熱鋳造部品：

新車販売台数の減少や収益改善を目的とした受注厳選等により減少

・配管機器

継手類：

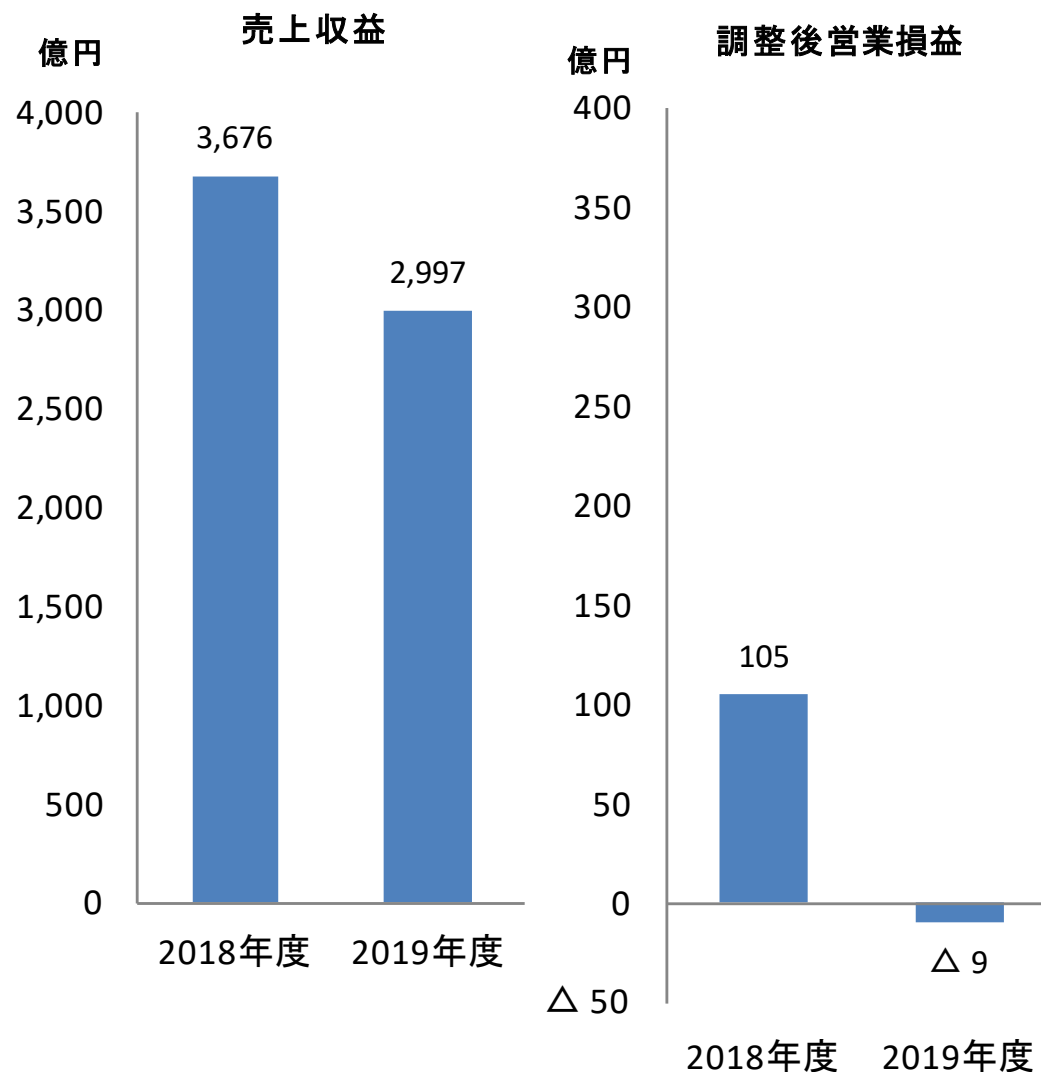
国内・海外向けともに前年同期並み

半導体製造装置用機器：

設備投資案件の延伸により減少

【調整後営業損益】

主力の北米自動車鋳物事業の需要低迷や半導体製造装置用機器の不調継続等に加え、年度末に感染症の拡大を受けて主要顧客が操業停止した影響等により、減益



2-5. セグメント別業績：素形材製品(2)

金額単位：億円		2018年度 1\$=111円 1€=128円 1元=16.5円	2019年度 1\$=109円 1€=121円 1元=15.6円	前年度対比
素形材製品	売上収益	3,676	2,997	△18%
	自動車鋳物 [◎]	3,198	2,538	△21%
	Waupaca社 [◎]	2,171	1,822	△16%
	鋳鉄製品[Waupaca社] (重量)			△12%
	鋳鉄製品[その他] (重量)			△5%
	耐熱鋳造部品ハーキュナイト [®] (重量)			△15%
	配管機器 [◎]	478	459	△4%
	調整後営業利益	105	△ 9	△114
	調整後営業利益率	2.9%	△0.3%	△3.2%
	IFRS営業利益	△ 25	△ 92	△67
ROIC	2.7%	—	—	

◎ セグメント間相殺前の単純合計値

2-6. セグメント別業績：磁性材料・パワーエレクトロニクス(1)

【売上収益】

磁性材料のFA・ロボット・自動車の需要減により減少

・磁性材料

希土類磁石:

FA・ロボット需要が大幅減少
自動車用部品も減少

フェライト磁石:

自動車用部品が減少

・パワーエレクトロニクス

軟磁性材料およびその応用品:

電気自動車向けが増加。変圧器用のアモルファス金属材料や一部の民生機器用途部材が減少

セラミックス製品:

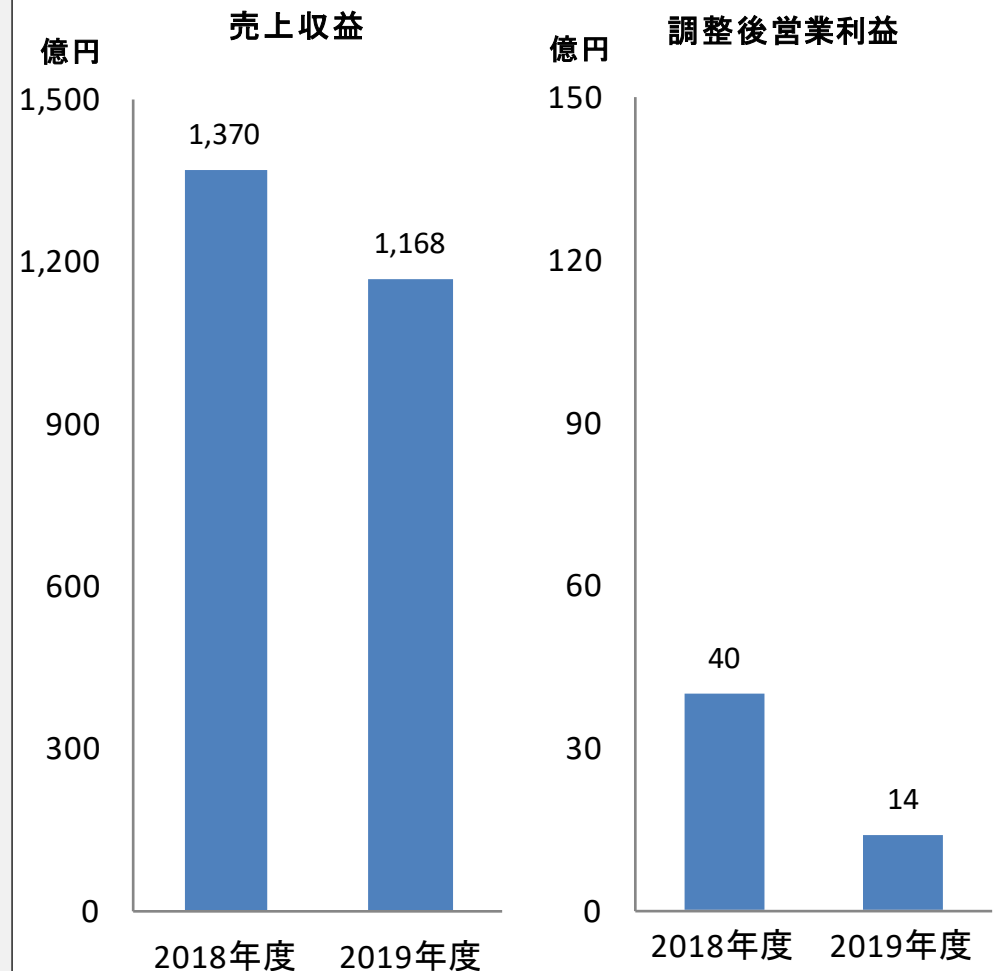
自動車用電装部品向けや医療・セキュリティー機器向けを中心に増加

【調整後営業利益】

磁性材料の需要減少により減益

【IFRS営業利益】

磁性材料の需要減少に加え、減損426億円(固定資産226億円、のれん200億円)計上により減益



2-7. セグメント別業績：磁性材料・パワーエレクトロニクス(2)

金額単位：億円		2018年度 1\$=111円 1€=128円 1元=16.5円	2019年度 1\$=109円 1€=121円 1元=15.6円	前年度対比
磁性材料 ・ パワー エレクトロニクス	売上収益	1,370	1,168	△15%
	磁性材料 [◎]	992	796	△20%
	希土類磁石（重量）			△11%
	フェライト磁石（重量）			△10%
	パワーエレクトロニクス [◎]	378	371	△2%
	調整後営業利益	40	14	△26
	調整後営業利益率	2.9%	1.2%	△1.7%
	IFRS営業利益	95	△ 428	△523
	ROIC	1.9%	0.9%	△1.0%

◎ セグメント間相殺前の単純合計値

2-8. セグメント別業績：電線材料(1)

【売上収益】

自動車用電装部品、FA・ロボット向けを中心に減少

・電線

医療向け：

チューブ、ケーブルとも増加

鉄道車両用電線：

大型案件の端境期となり減少

巻線：

自動車および産業向けとも減少

機器用電線：

FA・ロボット向けを中心に減少

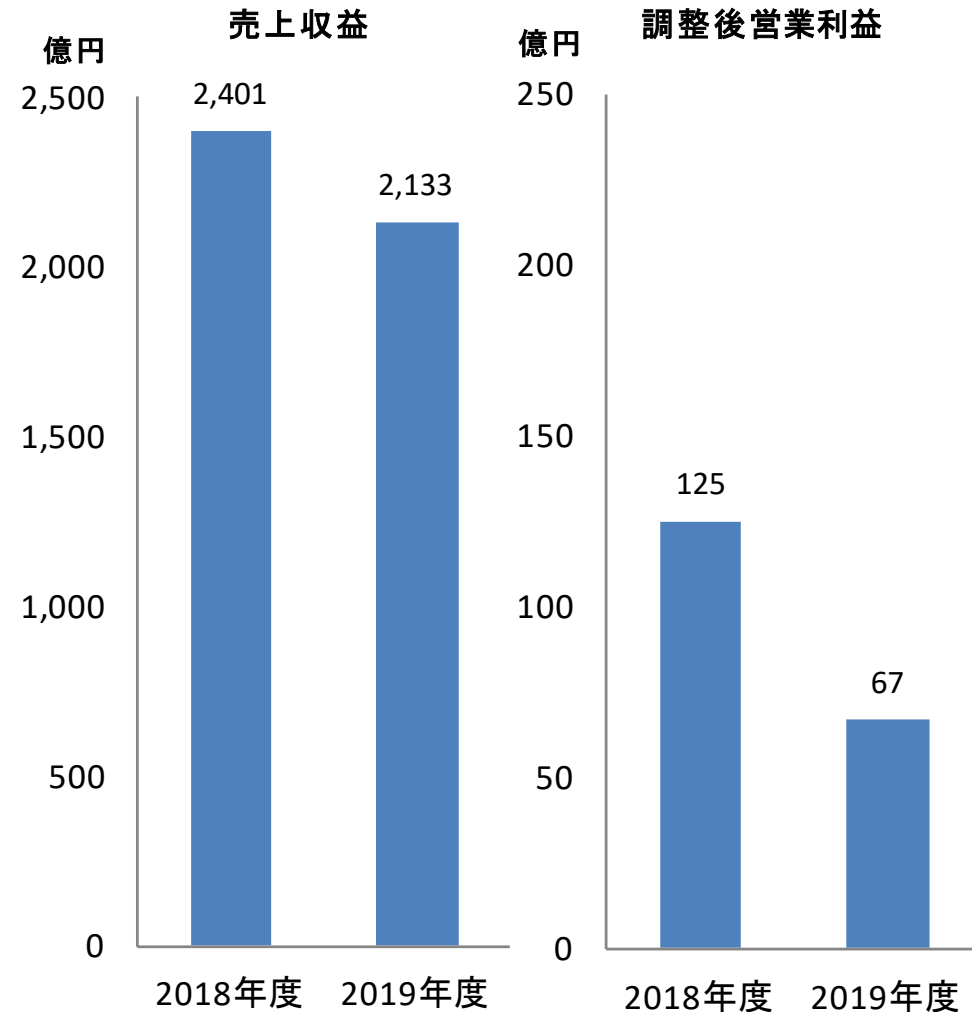
・自動車部品

グローバルでの新車販売台数の減少により

自動車用電装部品、ブレーキホースとも需要が減少

【調整後営業利益】

需要減等により減益



2-9. セグメント別業績：電線材料(2)

金額単位：億円		2018年度 1\$=111円 1€=128円 1元=16.5円	2019年度 1\$=109円 1€=121円 1元=15.6円	前年度対比	
電線材料	売上収益	2,401	2,133	△11%	
	注力分野	鉄道□			△23%
		医療□			+6%
		電装部品□			△12%
		FA・ロボット□			△36%
		巻線□			△19%
	調整後営業利益	125	67	△58	
	調整後営業利益率	5.2%	3.1%	△2.1%	
	IFRS営業利益	116	53	△63	
	ROIC	8.6%	5.0%	△3.6%	

□ 簡易的な方法により集計した売上収益(金額)の増減比を表示

注力分野売上割合 2018年度 42%
2019年度 40%

2-10. 資産／負債・純資産

金額単位：億円	2018年度末 1\$=111円 1€=125円 1元=16.5円	2019年度末 1\$=109円 1€=120円 1元=15.3円	増減
資産合計	10,993	9,778	△1,215
売上債権	1,953	1,577	△376
棚卸資産	2,148	1,799	△349
負債合計	5,041	4,549	△492
有利子負債	2,021	1,876	△145
親会社株主持分	5,880	5,203	△677
非支配持分	72	26	△46
親会社株主持分比率	53.5%	53.2%	△0.3%
D/Eレシオ(倍)	0.34	0.36	+0.02

- ・棚卸資産は、適正化施策の実行により349億円縮減
- ・有利子負債において、IFRS第16号「リース」適用初年度影響(174億円)等の増加要因があったものの、財務体質を改善し、親会社持分比率53.2%、D/Eレシオ0.36倍と健全性を維持

2-11. 連結キャッシュ・フロー

金額単位：億円	2018年度	2019年度	前年同期比
営業活動に関するキャッシュ・フロー（営業CF）	666	1,060	+394
投資活動に関するキャッシュ・フロー（投資CF）	△ 963	△ 565	+398
フリー・キャッシュ・フロー（FCF）	△ 297	495	+792
コア・フリー・キャッシュ・フロー*	△ 333	451	+784

* コア・フリー・キャッシュ・フロー = 営業活動に関するキャッシュ・フロー - 資本的支出

フリー・キャッシュ・フローは、運転資金の削減、投資の厳選等の施策実行により、前年同期比792億円改善

日立金属株式会社

2019年度決算

2020年度業績予想

[目次]

1. 2019年度決算
2. 2019年度セグメント別業績
3. 2020年度業績予想

3-1. 2020年度業績予想

	金額単位: 億円 ()は利益率	2019年度 実績 1\$=109円 1€=121円 1元=15.6円	2020年度 予想 1\$=105円 1€=120円 1元=15.0円	前年度対比
公表値	売上収益	8,814	7,500	△15%
	調整後営業利益*1	(1.6%) 144	(△0.7%) △50	△194
	税引前当期利益	△406	△150	+256
	親会社株主に帰属する当期利益	△376	△120	+256
	ROIC*2	1.7%	—	—
影響除き 感染症	売上収益	—	8,500	—
	調整後営業利益	—	(4.1%) 350	—

*1: 調整後営業利益 = 売上収益 - 売上原価 - 販売費及び一般管理費

*2: ROIC(投下資本利益率) = [調整後営業利益 × (1 - 税率25%) + 持分法投資損益] ÷ (期首期末平均有利子負債 + 期首期末平均資本) [今回より数式変更]

3-2. 2020年度業績予想の前提

1. 経済成長・需要見通し

- 2020年世界実質GDP成長率 $\Delta 3.0 \sim \Delta 2.8\%$ ※
- 世界自動車生産2020年7,000万台(前年比 $\Delta 21\%$)※

2. 新型コロナウイルス感染症影響

- 第3四半期から営業活動が戻り始める前提
- 売上減少に対応し、固定費追加削減(+100億円)

▶ **影響 売上収益 $\Delta 1,000$ 億円、調整後営業利益 $\Delta 400$ 億円**

- ### 3. 運転資本効率の改善および設備投資の厳選等により キャッシュ・フローを改善し、財務体質の健全性を確保 (感染症影響前の目標フリー・キャッシュ・フロー570億円を確保)
- ### 4. 検査成績書への不適切な数値の記載等に関する影響は調査中

3-3. セグメント別 売上収益 調整後営業利益予想

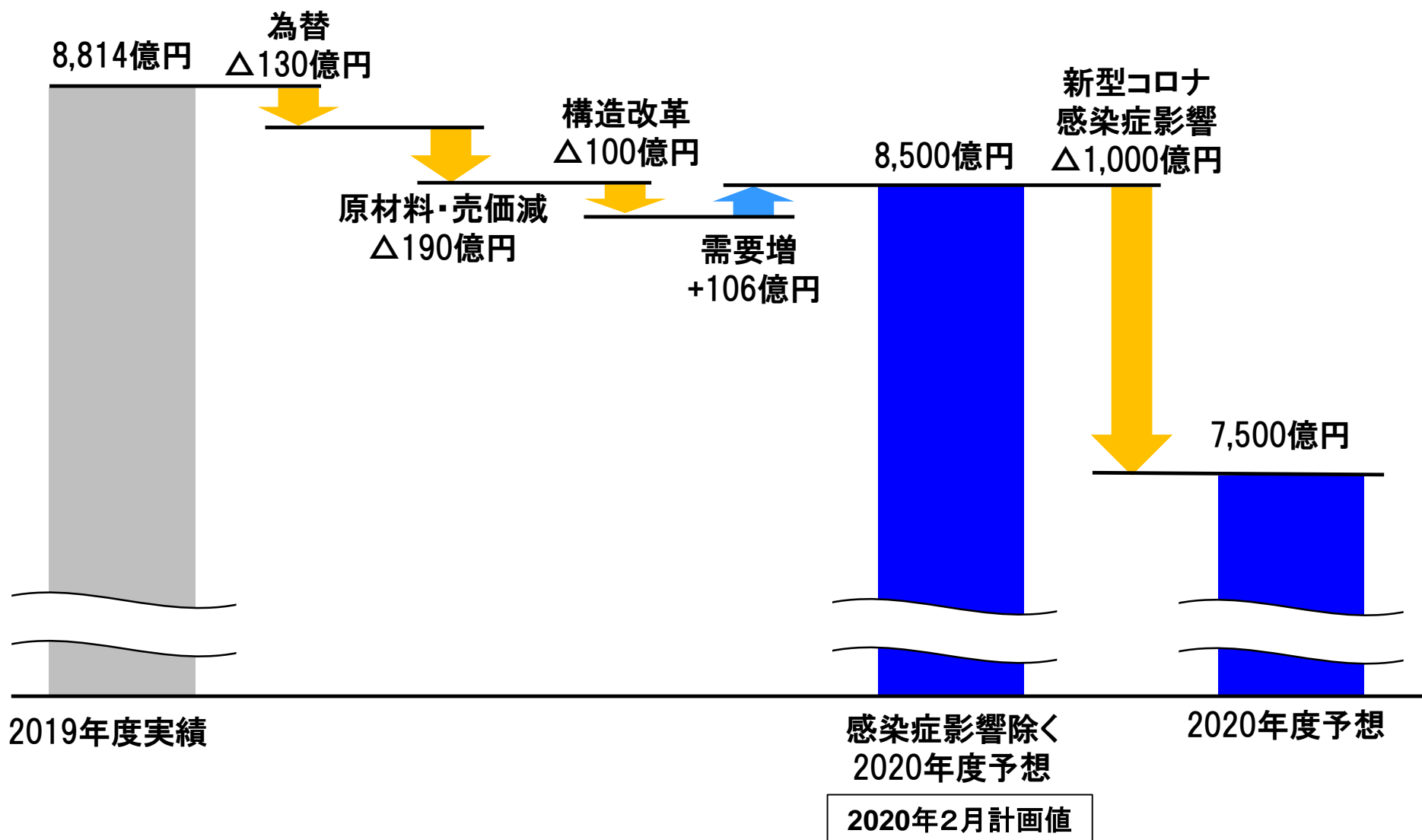
金額単位：億円 ()は利益率			2019年度 実績 1\$=109円 1€=121円 1元=15.6円	2020年度 予想 1\$=105円 1€=120円 1元=15.0円	前年度対比
金属材料	特殊鋼製品	売上収益	2,506	2,300	△8%
		調整後営業利益	(2.2%) 55	(2.2%) 50	△5
		ROIC*1	1.9%	1.5%	△0.4%
	素形材製品	売上収益	2,997	2,200	△27%
		調整後営業利益	(△0.3%) △9	(△5.9%) △130	△121
		ROIC*1	—	—	—
	小計◎	売上収益	5,503	4,500	△18%
		調整後営業利益	(0.8%) 46	(△1.8%) △80	△126
		ROIC*1	0.8%	—	—
機能部材	磁性材料・ パワーエレクトロニクス	売上収益	1,168	1,100	△6%
		調整後営業利益	(1.2%) 14	(1.4%) 15	+1
		ROIC*1	0.9%	0.9%	0.0%
	電線材料	売上収益	2,133	1,900	△11%
		調整後営業利益	(3.1%) 67	(1.3%) 25	△42
		ROIC*1	5.0%	2.0%	△3.0%
	小計◎	売上収益	3,301	3,000	△9%
		調整後営業利益	(2.5%) 81	(1.3%) 40	△41
		ROIC*1	2.5%	1.3%	△1.2%
その他・調整額		売上収益	10	0	—
		調整後営業利益	17	△10	△27
合計		売上収益	8,814	7,500	△15%
		調整後営業利益	(1.6%) 144	(△0.7%) △50	△194
		ROIC*2	1.7%	—	—

*1: セグメント別ROIC(投下資本利益率) = (調整後営業利益 × (1 - 税率30%) + 持分法投資損益) ÷ (期首期末平均運転資金 + 期首期末平均固定資産) [今回より数式変更]

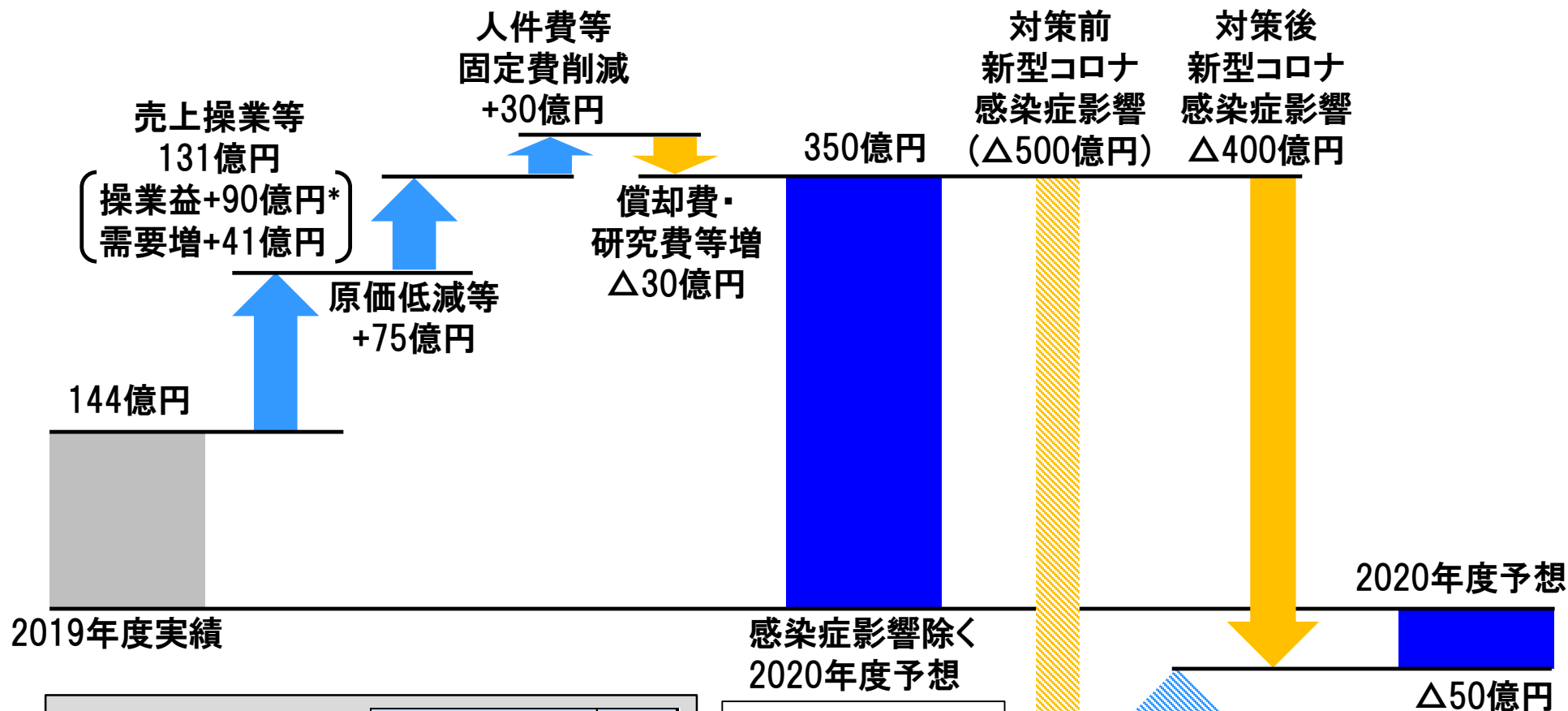
*2: 全社ROIC(投下資本利益率) = (調整後営業利益 × (1 - 税率25%) + 持分法投資損益) ÷ (期首期末平均有利子負債 + 期首期末平均資本) [今回より数式変更]

◎ セグメント間相殺前の単純合計値

3-4. 売上収益の増減要因(前年度対比)



3-5. 調整後営業利益の増減要因(前年度対比)



FCFは、新型コロナ感染症影響前の目標値を確保

感染症影響除くFCF	570
調整後営業利益減(税引後)	Δ300
棚卸資産圧縮	+200
設備投資圧縮	+100
感染症対策後FCF	570

*棚卸資産圧縮に伴う生産調整の戻り

参考データ(1)

金額単位: 億円	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2018年度	2018年度	2018年度	2018年度	2019年度	2019年度	2019年度	2019年度	2019年度	2020年度
	1\$=120円	1\$=108円 1€=119円 1元=16.1円	1\$=111円 1€=130円 1元=16.8円	1Q(4-6月) 1\$=109円 1€=130円 1元=17.1円	2Q(7-9月) 1\$=111円 1€=130円 1元=16.4円	3Q(10-12月) 1\$=113円 1€=129円 1元=16.3円	4Q(1-3月) 1\$=110円 1€=125円 1元=16.3円	1\$=111円 1€=128円 1元=16.5円	1Q(4-6月) 1\$=110円 1€=123円 1元=16.1円	2Q(7-9月) 1\$=107円 1€=119円 1元=15.3円	3Q(10-12月) 1\$=109円 1€=120円 1元=15.5円	4Q(1-3月) 1\$=109円 1€=121円 1元=15.6円	1\$=109円 1€=121円 1元=15.6円	予想 1\$=105円 1€=120円 1元=15.0円
売上収益	10,176	9,105	9,883	2,597	2,593	2,565	2,479	10,234	2,340	2,229	2,141	2,104	8,814	7,500
調整後営業利益*1	761	660	651	160	171	97	86	514	55	4	59	26	144	△50
調整後営業利益率	7.5%	7.2%	6.6%	6.2%	6.6%	3.8%	3.5%	5.0%	2.4%	0.2%	2.8%	1.2%	1.6%	△0.7%
その他の収益	364	141	54	68	9	10	20	107	9	9	8	60	86	
その他の費用	△ 125	△ 118	△ 242	△ 22	△ 28	△ 119	△ 28	△ 197	△ 12	△ 441	△ 38	△ 130	△ 621	
IFRS営業利益	1,000	683	463	206	152	△ 12	78	424	52	△ 428	29	△ 44	△ 391	
EBIT	991	685	489	219	163	△ 12	83	453	51	△ 426	35	△ 44	△ 384	△ 130
EBITDA	1,420	1,115	950	341	289	119	213	962	191	△ 284	170	91	168	400
税引前当期(四半期)利益	962	660	470	214	158	△ 19	77	430	45	△ 432	30	△ 49	△ 406	△ 150
親会社株主に帰属する 当期(四半期)利益	691	506	422	170	111	△ 11	44	314	32	△ 442	21	13	△ 376	△ 120
有利子負債	2,204	1,945	1,608	1,834	2,014	2,183	2,021	2,021	2,390	2,270	2,281	1,876	1,876	
設備投資額	596	638	918	227	217	270	240	954	116	136	146	132	530	330
減価償却費	429	430	461	122	126	131	130	509	139	142	135	136	552	530
研究開発費	191	180	177	45	48	46	47	186	40	42	40	37	159	170
D/Eレシオ(倍)	0.44	0.36	0.29	0.32	0.34	0.37	0.34	0.34	0.42	0.43	0.43	0.36	0.36	0.29
基本的1株当たり 当期(四半期)利益(円)	161.50	118.32	98.72	39.82	26	△2.65	73.37	73.37	7.58	△ 103.45	4.81	3.01	△ 88.05	△ 28.07
1株当たり配当金(円)	26.0	26.0	26.0		17.0		17.0	34.0		13.0		13.0	26.0	—
1株当たり 親会社株主持分(円)	1,159.7	1,254.9	1,316.1	1,357.4	1,398.6	1,362.9	1,375.2	1,375.2	1,345.9	1,238.3	1,244.0	1,216.9	1,216.9	1,157.5
人 員(人)	29,157	28,754	30,390	31,086	31,016	31,173	30,304	30,304	30,354	30,201	30,016	29,805	29,805	29,500
ROIC*2	9.6%	7.0%	5.8%					5.3%					1.7%	—
ROE*3	14.4%	9.8%	7.7%					5.5%					△6.8%	△2.4%
ROA*4	6.5%	4.9%	4.0%					2.9%					△3.6%	△1.3%
CCC*5(日)	62.3	71.1	82.7					90.7					87.1	86.3
海外売上比率	56%	56%	56%	57%	56%	55%	57%	56%	55%	54%	53%	54%	54%	51%

* 1 調整後営業利益 = 売上収益 - 売上原価 - 販売費及び一般管理費

* 2 [2017年度まで] ROIC(投下資本利益率) = 親会社株主に帰属する当期利益 ÷ (期首期末平均有利子負債 + 期首期末平均親会社株主持分)

[2018年度より] ROIC(投下資本利益率) = {調整後営業利益 × (1 - 税率25%) + 持分法投資損益} ÷ (期首期末平均有利子負債 + 期首期末平均資本)

* 3 ROE(親会社株主持分当期利益率) = 親会社株主に帰属する当期利益 ÷ 期首期末平均親会社株主持分 × 100

* 4 ROA(資産合計当期利益率) = 親会社株主に帰属する当期利益 ÷ 期首期末平均資産合計 × 100

* 5 CCC(運転資金手持日数) = 運転資金[売上債権 + 棚卸資産 - 買入債務] ÷ 1日平均売上収益

主要製品 重量動向

2018年度1Qを100とした場合の指数

製 品		2017年度				2018年度				2019年度			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
特殊鋼製品	工具鋼	101	94	92	99	100	98	87	87	80	82	80	67
	CVTベルト材	93	104	109	119	100	106	112	100	99	87	96	104
	ピストンリング材	98	91	90	96	100	96	98	93	89	78	90	84
	有機EL関連部材	49	80	85	106	100	87	87	79	95	123	176	125
素形材製品	鑄鉄製品[Waupaca社]	99	90	84	97	100	94	89	96	94	85	73	86
	鑄鉄製品[その他]	100	95	99	97	100	96	103	96	101	92	95	89
	耐熱鑄造部品 ハーキュナイト®	99	97	104	100	100	88	82	71	63	77	73	78
磁性材料 ・ パワーエレクトロニクス	希土類磁石	101	103	107	100	100	100	93	87	91	86	81	80
	フェライト磁石	104	103	102	99	100	97	94	91	87	85	85	87
	アモルファス金属材料 Metglas®	95	72	100	103	100	87	84	90	87	73	67	54
電線材料	電装部品*	89	93	100	106	100	109	113	98	99	97	96	85

* 電装部品は、簡易的な方法により集計した売上収益(為替影響を除外した金額)の指数

売上収益

金額単位 億円	2018年度	2019年度
ロール事業	236	246

(参考) マーケット分野別事業構造(2019年4月～)

■事業ポートフォリオ

事業本部	事業セグメント	産業インフラ	自動車	エレクトロニクス
金属材料	特殊鋼製品	圧延用ロール 熱間工具鋼 工具鋼・ロール		
	素形材製品	タービンケース 産機材・航空機エネルギー	CVTベルト材 自動車鋳物 鋳鉄製品 耐熱鋳造部品[ハーキュナイト®]	リードフレーム材 クラッド材 電子材
		配管機器 管継手 ガス用ポリエチレン配管システム		
機能部材	磁性材料 ・ パワーエレクトロニクス	ネオジウム磁石 [NEOMAX®] 磁性材料	フェライト磁石 [NMF®] パワーエレクトロニクス アモルファス金属 [Metglas®]	窒化ケイ素基板
	電線材料	鉄道車両用電線 FA・ロボット用ケーブル 電線	自動車部品 電動パーキングブレーキ用ハーネス	

(参考) 日立金属の事業構造(2019年4月～)

■ 日立金属の事業構造

事業本部	事業セグメント	事業部門	主要製品
金属材料	特殊鋼製品	工具鋼・ロール	工具鋼、各種圧延用ロール、射出成形機用部品、構造用セラミックス部品、鉄骨構造部品
		産機材・航空機エネルギー	自動車関連材料、剃刃材および刃物材、精密鋳造品、航空機・エネルギー関連材料
		電子材	ディスプレイ関連材料、半導体等パッケージ材料、電池用材料
	素形材製品	自動車鋳物	高級ダクタイル鋳鉄製品[HNM [®]]、輸送機向け鋳鉄製品、排気系耐熱鋳造部品[ハーキュナイト [®]]、アルミニウム部品
		配管機器	設備配管機器 (H [®] 印各種管継手・各種バルブ、ステンレスおよびプラスチック配管機器、冷水供給機器、精密流体制御機器、密閉式膨張タンク)
機能部材	磁性材料 ・ パワーエレクトロニクス	磁性材料	希土類磁石[NEOMAX [®]]、フェライト磁石、その他各種磁石およびその応用品
		パワーエレクトロニクス	軟磁性材料(アモルファス金属材料[Metglas [®]]、ナノ結晶軟磁性材料[ファインメット [®]]、ソフトフェライト)およびその応用品、セラミックス製品
	電線材料	電線	産業用電線、機器用電線、電機材料、ケーブル加工品、工業用ゴム
		自動車部品	自動車用電装部品、ブレーキホース

当社の業績は事業セグメント区分により開示しております。

本資料に掲載されている情報のうち業績予想、事業計画および配当予想等の歴史的事実以外のものは、各資料の作成時点において、予想を行うために合理的であると判断した一定の前提および仮定に基づいており、内在する仮定および状況の変化等により、実際の業績と異なる可能性があります。その要因となる主なものは次のとおりです。

- 製品需要及び市場環境等に係るリスク
- 原材料等の調達に係るリスク
- 為替レートの変動に係るリスク
- 海外への事業展開に係るリスク
- 有形固定資産やのれん等の固定資産の減損損失に係るリスク
- M&Aに係るリスク
- 事業再編等に係るリスク
- 製品の品質に係るリスク
- 資金調達に係るリスク
- 人材確保に係るリスク
- 親会社との関係に係るリスク
- 知的所有権に係るリスク
- 競争優位性及び新技術・新製品の開発・事業化に係るリスク
- 環境規制等に係るリスク
- 法令・公的規制に係るリスク
- 地震、その他自然災害等に係るリスク
- 情報セキュリティに係るリスク
- 退職給付債務に係るリスク